

楽しさ、よろこび、
驚きに満ちた、
こころ踊る
アート体験を。

美術、文学、音楽、
舞台、生活デザイン、
多文化共生、
そして、あなたをつなぐ。
私たちは
せたがや文化財団です。

公益財団法人 **せたがや文化財団**

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー5階
TEL.03-5432-1501 <https://www.setagaya-bunka.jp/>



環境にやさしいインクと紙を使用しています
発行 2024年4月

公益財団法人 **せたがや文化財団**



★世田谷文学館
ROKA-KOEN

世田谷文化生活情報センター
キャロットタワー

★生活工房
★世田谷パブリックシアター
★音楽事業部 🎵世音
★せたがや国際交流センター
SANGENJAYA

★清川泰次記念ギャラリー
SEIJO

★向井潤吉アトリエ館
TSURUMAKI

★世田谷美術館
KINUTA-KOEN

★宮本三郎記念美術館
OKUSAWA

せたがやでアートに 出会う

美術、文学、音楽、舞台、生活デザイン、そして多文化共生。
6つの分野を自在に横断する、せたがや文化財団の多彩なプログラム。
子どもから大人まで誰もが芸術や文化の魅力にふれ、親しむ。
アートと出会うまち、せたがやで、こころ踊る体験を。

せたがや文化財団は6つのジャンルを主軸に
枠組みを超えた独創的な
文化・芸術活動を行っています。
「アート」の輪は「ひとの輪」となってつながり、
無限の楽しさが広がっていきます。



舞台

世田谷パブリックシアター

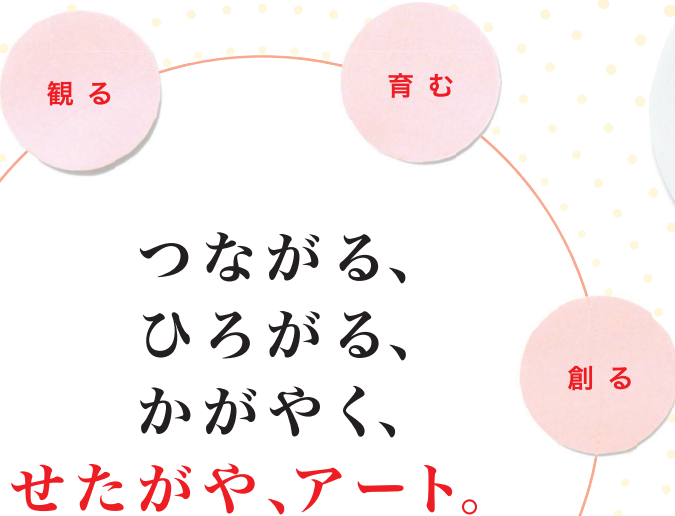
観る感動、演じる感動、
創る感動を。
子どもたちの演劇活動も
サポートしています。



音楽

音楽事業部 おたけぼん

想像力や感性を刺激する
新しい音楽の世界へ。
子どもたちの音楽の芽も
育みます。



文学

世田谷文学館

文学の魅力をあらゆる角度、
新しい視点から
発見できる
体感型・文学館です。



美術

世田谷美術館

様々な展覧会をはじめ、
ワークショップやパフォーマンスなど
多彩な活動で、
皆さんと美術をつなぎます。



生活デザイン

生活工房

暮らし×デザインの
交流拠点。
生活文化やアートの魅力を
身近に体感できます。



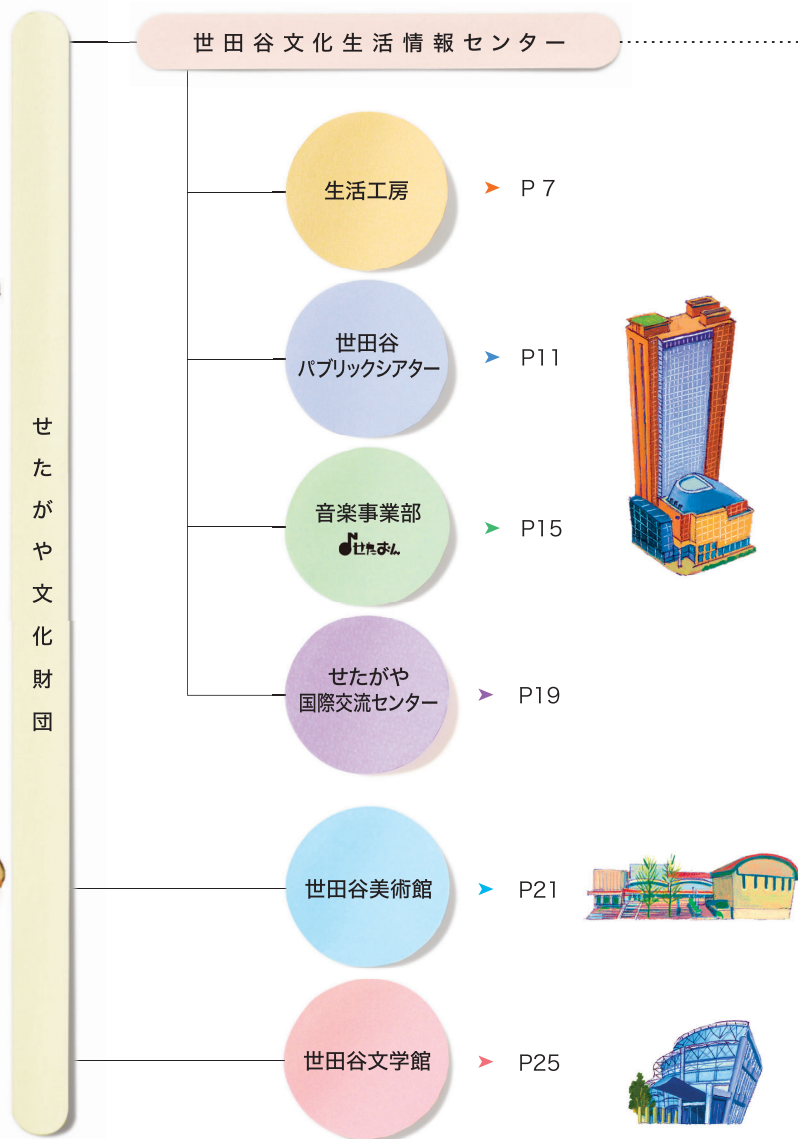
多文化共生

せたがや国際交流センター

地域に暮らす
日本人や外国人など
様々な人々の交流が
広がる場所です。



せたがや文化財団は3館で構成され、6つの組織で様々な活動を行っています。



世田谷文化生活情報センター

生活と文化を結ぶ 創造拠点。

「世田谷文化生活情報センター」は、2027年に開場30周年を迎えます。
音楽、舞台、生活デザイン、多文化共生の4つの分野で
生活と文化を結び、日々を豊かにできる場をめざしています。
世田谷の地域に根ざした活動から、国や文化の違いを越えた交流まで、
様々なプログラムの中で大切にしているのは「ひとを育むこと」。
一人ひとりがアートと出会い、感性を磨く場、
子どもから大人まで誰もが学び、創り、発表する場でありたい。
そのための新たな一歩を、
今日も世田谷から発信してまいります。



世田谷文化生活情報センターは
キャロットタワー内にあります。



世田谷文化生活情報センター
館長 高萩 宏



暮らしとデザインをつなぐ みんなの創造ステーション。

生活工房がめざすのは、人間の知恵と暮らしの文化を育むこと。

身近にある道具や環境から世界の生活文化まで「暮らし」のあらゆるモノ・コトをデザインやアートを機軸に多面的に発信。

モノづくりの知恵や伝統、作り手の想いなどにふれることで、より楽しく、より深く、暮らしの中のデザインに親しむ機会を創出しています。

生活工房での体験が、あなたらしい暮らしの楽しみ方や

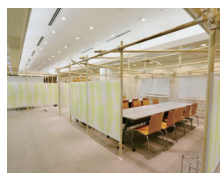
好奇心の扉を開ききっかけになれたなら。毎日がもっと新鮮になるかもしれません。



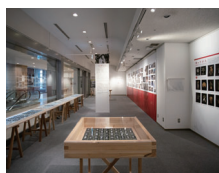
ワークショップルーム



セミナールーム



市民活動支援コーナー



生活工房ギャラリー

展覧会

新たな発見が暮らしを彩る

生活工房ギャラリーやワークショップルームでは、デザインやクラフト、異文化など、多角的なテーマで展示を行っています。



ワークショップ

多彩なモノづくりを楽しむ

参加者が手や体を動かしながら「考え」「つくる」ワークショップでは、子どもから大人まで楽しめる多彩なプログラムを実施しています。



セミナー

知に触れる、 学びを楽しむ

専門家やクリエイターを招き、暮らしや文化に関する生きた言葉に触れるさまざまな講演やトークイベントを開催しています。



市民活動支援

地域をサポートする

市民活動支援コーナーの運営や、NPO・市民活動団体にむけた講座を通じ、地域の活動と交流を支援しています。

地域交流

共感の輪を広げる

施設の貸出やさまざまなイベントを通じて人々が交流する場をつくり、豊かな地域づくりのお手伝いをしています。



©ゆかい

たとえば、
「14歳のワンピース」

生活デザイン×子どもワークショップ

「夏」の子どもワークショップは、衣・食・住さまざま
な側面から多彩な企画を行う夏の恒例行事。
なかでも「14歳のワンピース」は、2011年にスタート
して以来10年つづいたロングラン企画です。

今の気持ちはどんな色?どんな形?夢中になっている
ものやこと、悩み、将来の夢……中学2年生を対象とした
このワークショップでは、歌詞や小説の一節など、自分の
心に響く言葉をヒントに「14歳の心模様」を図案化し、洋服
生地にも型染めを応用した技法でプリントしていきます。

講師はファッションデザイナーの飛田正浩さん(spoken
words project)。3日間かけて制作した生地は縫製工場で
ワンピースに仕立てられ、後日参加者のもとへ届けられ
ます。

約1か月後、完成したワンピースを身にまとい、写真家の
池田晶紀さん(ゆかい)による撮影会を開催。14歳の私を
未来の私に届けるために写真に記録します。

生活工房の「夏の子どもワークショップ」は、子どもたちと
デザイナー・アーティストたちが出会い、共に創造する
場所です。そのプロセスの中で子どもたちが、つくることの
楽しさや喜びを知り、将来の多様な働き方・生き方を発見
することを目指しています。



型染めを応用した技法で布にプリント



©ゆかい

笑いあふれる撮影会で14歳の自分を
記録する



創作楽器ワークショップ
不用品からオリジナル楽器を創作



食のワークショップ「トーストストーリー」
食パンにカラフルな食材でペイント



演劇が人生の一部になる。 創造発信型の公共劇場。

あるときは、暮らしのすぐそばで上質な演劇に触れられる劇場として。

またあるときは、誰もが演劇の世界を自らの体験として味わえる場として。

世田谷パブリックシアターは、25年を超える歴史を積み重ねています。

地域に根差したアートプログラムや、

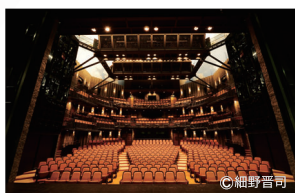
舞台芸術の最先端を走る作品創造など、

「創造発信型の公共劇場」の名にふさわしい

独創性あふれる活動を、これからも繰り広げていきます。



芸術監督 白井晃



世田谷パブリックシアター

客席数約600席の主劇場。現代演劇、舞踊を中心に上演しています。舞台形状が可変設備により変化。高水準の機能を備えています。



シアターラム

客席数約200席の小劇場。客席や舞台をどこにでも設定できます。小劇場ならではの緊密な空間が魅力の劇場です。

国内演劇創作事業・海外招聘

現代演劇・ダンスを中心に、国内・海外の才能が織りなす多彩な舞台芸術公演

地域活性のための文化芸術事業 区民の表現の場の提供

地元商店街と連携して行う大道芸フェスティバル「世田谷アートタウン「三茶de大道芸」、世田谷区内団体の発表の場「フリーステージ」



若手アーティスト 支援・育成

公募により若手アーティストを選出し、上演機会を提供する「シアターラム・ネクストジェネレーション」など



せたがやアートファーム

子どもと大人が垣根なく多くのアートに触れ合えるパフォーマンスやワークショップ

普及啓発・人材養成事業

参加型の演劇ワークショップ・レクチャー、学校・その他区内施設との連携プログラムなど



©細野晋司

音楽劇『ある馬の物語』

世田谷を、世界を、
魅了する作品を創る。

世田谷パブリックシアターらしさは「多様性」

身 体表現の可能性を極限まで追求した作品も、戯曲の魅力を深く探求した作品も
味わえる。名高い芸術家の傑作も、若い才能の斬新な表現も、同じ舞台上で楽しめる。
そうした「多様性」が、幅広い観客が集う公共劇場には欠かせません。世田谷パブリックシアター
では、ジャンルの枠や国内・海外を問わず多様な作品を上演してきました。もちろん、どんなスタイル
の作品でも質の高さを重んじる姿勢は変わりません。世界中で愛され、地域の皆さまに誇り
とっていただける作品創造をめざしています。



©細野晋司

『マーキュリー・ファー Mercury Fur』



©細野晋司

『毛皮のヴィーナス』



©細野晋司

『建築家とアッシリア皇帝』



©三石友希

『メルセデス・アイス MERCEDES ICE』



©田中亜紀

『無駄な抵抗』



©細野晋司

『ハムレット』



©片岡陽太

ピーピング・トム『マザー』



©片岡陽太

インバル・ピント『リビングルーム』



©大洞博晴

『フィアース5』



音と、ココロの、 重なるところ。

子どもにも大人にも「本物」の音楽を。

世田谷ならではの演奏会やワークショップなどを通して
日々の生活やココロの中に音楽を息づかせたいと思います。

まるでそこで生きているもののように！

音楽によって、新しい世界が広がる。

発見やワクワクに満ちた体験があなたを待っています。



音楽監督 池辺晋一郎



多彩な演奏会の企画

異分野から招くゲストとのトークも人気の「音楽監督企画」など、新しい音楽の世界を体感できる独自のプログラム。



世田谷の力の活用

国内外で活躍する世田谷の音楽家が、多彩なジャンルで音楽の魅力を発信。



せたがやジュニア オーケストラの 継続的な活動

東京フィルとの連携を経て、さらに意欲的な活動を展開します。



教育普及事業の充実

各種のワークショップや音楽家による学校公演などで、想像力と創造力を育みます。

地域の交流と活性化

普段着のまちに音楽を届ける「まちかどコンサート」や、アマチュアの愛好家がステージを飾る企画などを開催。



オーケストラは
こころも育む。



SJOの1週間は日曜午前10時に始まる

毎週日曜午前10時。せたがやジュニアオーケストラ(SJO)の練習が、区内の公共施設で始まります。区内在住・在学、小学3年生から20歳まで、自ら応募し、オーディションを経て入団した90名前後の小さな演奏家たちが、2時間の練習を重ねていきます。

SJOは、「音楽を通じて人を育てる」という池辺晋一郎音楽監督の提唱で、2010年に発足。「本物」を知ってもらおうという方針のもと、第一線で活躍する演奏家が直接指導しています。2020年度からは、東京フィルハーモニー交響楽団と連携、益々の充実を図っています。金管や打楽器など初心者の入団が多いパートは、年度初めは実力差が歴然とし、練習には相当の苦労が伴います。そこを中・高校生の先輩メンバーが上手にサポートして、練習を重ねるうち、互いに頼り・頼られ、団としての和が生まれてきます。そして、年度末の定期演奏会。年間を通し培ってきたチームワークで、SJOとしての響きを奏でます。

「メンバーは毎年入れ替わり、変わっていくのに、SJOはひとつのオーケストラとしてどんどん成長していく。毎年毎年その繰り返しを目の当たりにするたびに、不思議なものだと感じています。それがとても頼もしい。同時に、それをずっと傍で聴いているというのは、本当に幸せなことと感じています。」と池辺音楽監督は語ります。ただ単に技量の向上を目指すのではなく、豊かな人間性と社会性を培う——それがSJOなのです。



真剣な表情で演奏に集中



指導する側も子どもたちの熱意に応えます



本番はここ一番の集中力です！



兵庫県姫路市へ演奏旅行
現地のジュニアオーケストラと共演



であう、つながる、ひろがる さまざまな国の人たちの交差点。

日本人と外国人、多様なルーツをもつ人たちが、
より良い関係を築いていけるように・・・。

せたがや国際交流センター(Crossing Setagaya)は、
誰もが共に参画・活躍でき、人権が尊重され、
安心・安全に暮らせる多文化共生のまち せたがやを目指して、
さまざまな人が学び、であい、つながり、
広がっていく交差点(Crossing)のような存在になるよう
取り組みを進めていきます。



東急世田谷線三軒茶屋駅の上
キャロットタワーの2階にあります。
開館時間は、火曜日から日曜日
午前10時から午後6時(月曜日・
年末年始休み)です。

せたがや国際交流センター

英語や中国語など多言語での情報提供、地域活動団体や学校などが行う国際交流活動の紹介、外国人が抱える相談に対する案内などを行っています。



多文化を理解する

外国の文化や、外国人とのコミュニケーションなど、国際交流や多文化理解に役に立つ講座を行います。



日本人と外国人の交流

世田谷区内を巡る「まち歩きツアー」や、やさしい日本語で交流する「にほんご交流会」など、日本人と外国人が交流する場をつくれます。

外国人への日本語支援と市民活動支援

世田谷区に住む外国人に日本語を学ぶ機会を提供し、また外国人を支える市民活動への支援と連携を図ります。

ひとの交流から生まれる 個性豊かなアート体験。

緑豊かな親しみのある公園美術館として、1986年の開館以来、多くのご来館者を迎えています。

「美術館＝鑑賞の場」ということにとどまらず、

美術館を訪れる人が、自ら学び、創造し、交流する。

人と人のつながり合いから、アートの楽しさが豊かに広がっていく。

そのためのアイデアは学芸員やボランティアや地域の皆さんからも

数多く発案され、ワークショップなどにも展開しています。

ここを訪れる皆さんとともに、美術館も育っていきます。

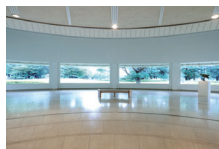
アートと人々が出会い、そして集う場を、世田谷美術館はめざしています。



世田谷美術館
館長 橋本善八



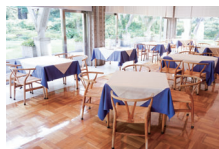
世田谷美術館



展示室



ミュージアムショップ



レストラン

世田谷美術館分館



向井潤吉アトリエ館

草屋根の民家を描き続けた向井潤吉の作品が鑑賞できます。昔ながらの風情あるアトリエです。



清川泰次記念ギャラリー

洋画家・立体作家の清川泰次のアトリエを改装。一般の方の作品展示スペースもあります。



宮本三郎記念美術館

洋画家・宮本三郎の作品展示をはじめ、様々な企画展示やイベントなどを開催しています。

魅力ある展覧会

芸術と素朴、生活と美術、近代の見直し、世田谷ゆかり、建築、都市、デザインなど、多様なテーマで構成した展覧会を、分館を含め開催しています。



観る 体験する 学ぶ

砧公園の景色を活かした「アイノとアルヴァ二人のアルト」展(2021年)の展示

撮影 上野則宏



つないでいく

アンリ・ルソー「フリュマン・ビッシュの肖像」(1893年頃)



育む つながる

小学校美術鑑賞教室を終えた児童に挨拶するボランティア

ボランティアやインターン生などとの協働事業の取り組み

美術鑑賞教室の子どもたちの来館時のサポートや出張授業などを、ボランティアやインターン実習生と協働して取り組んでいます。



体験する 学ぶ 創る

子どもから大人まで参加できる幅広い対象の各種プログラム

通年講座「美術大学」から気軽に参加できる100円ワークショップといった多様なプログラム、区民の作品発表の場の提供など、誰もが自由にアートを楽しむ環境をつくります。



観る 体験する

音楽やパフォーマンスなど、ジャンルを超えたアートの楽しみ

美術館の建築空間を活かし、映画、パフォーマンス、コンサートなど、様々な芸術に触れられる機会を提供します。



作品と出会う 人と出会う

美術館の収蔵作品を楽しむ鑑賞リーダーと子どもたち



美術館を拠点に広がるアートと人との出会い

貴 重な美術作品をより多くの人々が鑑賞できるようにと、毎年多くの作品の収集を続けています。これまで美術館が開催してきた展覧会の蓄積や、人との出会いによって寄贈される作品も多く、こうした作品管理、調査研究を行いながら、作品の魅力を伝えるために様々な切り口の展覧会を開催しています。

これらの美術作品を介して、子どもと大人が繋がるのが、開館当初より続く美術鑑賞教室です。世田谷区立の小中学校全校を対象にし、児童・生徒が毎年来館します。近年、他館でも行われるようになった取り組みですが、区内全校を対象とするのは珍しく、当館がどこよりも先んじてこうした事業を実施してきたことは特筆すべきでしょう。1997年からは、地域のボランティアによる鑑賞リーダー制を導入し、子どもたちと大人が、会話をしながら美術館や美術作品を楽しみ、双方が様々な発見をして豊かな時間を過ごしています。子どもたちがより美術館や美術作品に興味を持つように、希望校には、インターンの実習生や学芸員が学校へ出向いて事前（または事後）授業も行います。

展覧会では、展示作品の鑑賞だけでなく、音楽やパフォーマンスなど様々なジャンルの表現からもアプローチした関連企画も行っています。また、開催中の展覧会の内容に関連して、小さな子どもから大人まで気軽に参加して、工作などが楽しめる「100円ワークショップ」も美術館と鑑賞リーダーが協働して実施し、つくる喜びを共有します。



世田谷区ゆかりの作家（大沢昌助、建畠寛造）のコレクション展



美術鑑賞教室で、大人の版画講座を見学する子どもたち



「Performance Residence in Museum 2022-23」パフォーマンス上演



展覧会毎にボランティアと一緒に内容を企画し、実施する100円ワークショップ



子どもから大人まで楽しめる 型にはまらない文学館。

全国の文学館の中でも屈指の来館者数を誇る世田谷文学館。

地域に密着した文学館として活動の原点にあるのは

文学の本質を伝えるために、あえて文学の「枠」とらわれないということです。

今を生きる人々の心に響くよう、文学へのアプローチに創意工夫を凝らしています。

たとえば、音楽や美術や暮らしなど他の視点を取り入れた独創的な

企画や学校・図書館や区民センターに出向く出張展示など。

知識だけではなく、あなたの心で、

カラダで「文学ってワクワクする!」と実感できる。

そんな時間が生まれる場をめざしています。



世田谷文学館
館長 亀山郁夫



世田谷文学館



展示室



ミュージアムショップ

多彩な展覧会

文学の魅力独自の切り口で伝える展覧会をはじめ、音楽や漫画などジャンルを超えたテーマなど、ユニークな展覧会を開催しています。



観る

現代文学最高峰、
筒井康隆初の大規模企画展(2018)

約10万点の収蔵資料

文学の魅力を次の世代へ伝えていくために、貴重な文学資料を収蔵。web公開もしています。



集める 調べる

収蔵庫内



つながる

地域のみなさんにも人気の
セタプンマーケット

どこでも文学館/ 講演会・講座/ セタプンマーケット

「もっと、どこでも、いつでも、だれでも」をモットーに、セタプンの楽しさをお届けしています。



つながる 創る

小学校で実施する声優ワークショップ

学校連携/世田谷文学賞/ 世田谷文学館ホームページ

学校との連携事業のほか、個人の創作活動を積極的に応援するために、作品を募集します。



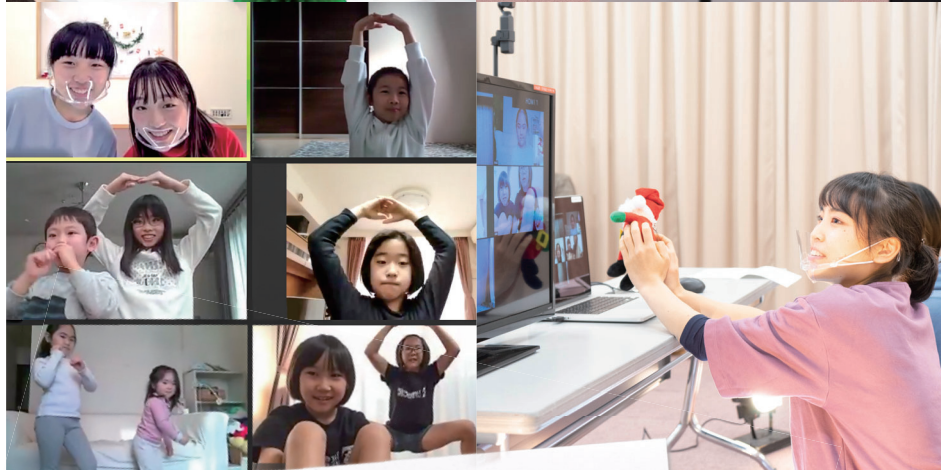
育む 創る

ライブラリー「ほんとう」

新しい本との出会い

幼児から大人まで、新たな世界との出会いがあるライブラリー「ほんとう」です。





ワークショップ「ことばとからだ」

セタブンはいつも
あなたのそばに



もっと、どこでも、いつでも、だれでも—どこでも文学館

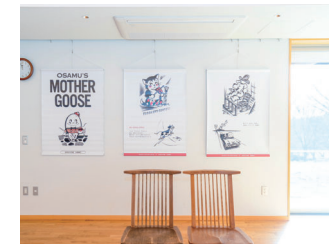
世 田谷文学館では1999年より、「文学への誘い」をテーマにした出張展示キットを作成し、世田谷区内外の小中学校・図書館などで展示活動を行っています。〈どこでも〉〈いつでも〉〈だれでも〉をモットーに、近年は「SF入門 星新一」「井上ひさし ふかいことをゆかいに」など幅広い年代の方が楽しめるもの、「水丸さんのがたんごとん」など幼児にも親しまれるもの、また世界の名作「若草物語」や国立台湾文学館と協力して制作した「台湾はどんな国？」ほか、国際色も多彩な作品を揃え、様々な地域・施設で親しまれています。

どこでも文学館は、ワークショップもユニークです。地域の大学生が講師となる元気いっぱいな「ことばとからだ」、3日間でひとつの小説を仕上げる「だれでも小説家～ショートショートを書こう」、憧れの本屋さんになれる「ひと箱本屋のつくりかた」、小・中・高校生が将来の仕事を探る「生業探し」「声優体験」など。各界で活躍する講師陣をお招きして、セタブンならではのラインナップでお届けしています。

そして、セタブンは「あなたのもうひとつの居場所」でありたいと願っています。キッズスペースも備えたライブラリー「ほんどわ」、窓からの風景に癒されるロビーのくつろぎスペースや喫茶室etc.お気に入りの場所が必ず見つかるはず。もっと、どこでも、いつでも、だれでも。セタブンは、館のなかでもそとでも、いつもみなさんのそばにある場所であり続けます。



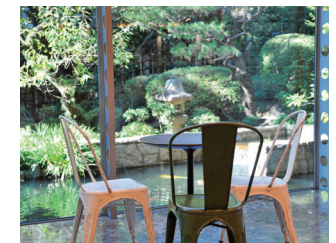
出張展示 区内小学校で展示「SF入門 星新一」



出張展示 川場村ふじやまビレッジせせらぎの湯で展示「原田治OSAMU'S MOTHER GOOSE」



ワークショップ「ひと箱本屋のつくりかた」



ロビー くつろぎスペース

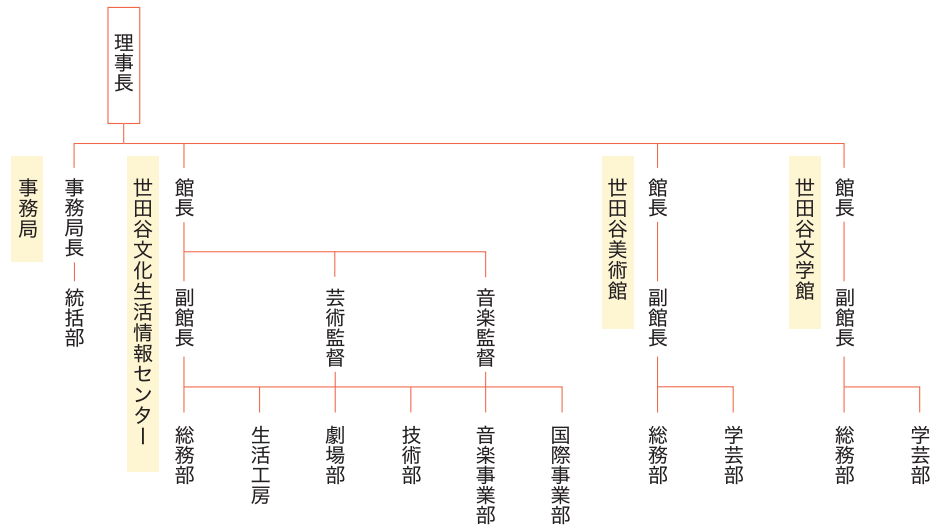
財団設立の目的

世田谷区において幅広い文化事業を展開するとともに、区民の多様な文化創造活動・市民活動・交流活動を支援することにより、地域文化の振興と、心豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とします。

財団の沿革

昭和60(1985)年11月	財団法人世田谷区美術振興財団 設立(*)
昭和61(1986)年 3月	世田谷美術館 事業開始
平成 5(1993)年 7月	向井潤吉アトリエ館 事業開始
平成 7(1995)年 4月	世田谷文学館 事業開始
平成 8(1996)年11月	財団法人世田谷区コミュニティ振興交流財団 設立(**)
平成 9(1997)年 4月	世田谷文化生活情報センター 事業開始
平成15(2003)年 4月	幅広い区民の要望を背景に、財団法人せたがや文化財団 設立 (* **を統合)
平成15(2003)年11月	清川泰次記念ギャラリー 事業開始
平成16(2004)年 4月	宮本三郎記念美術館 事業開始
平成19(2007)年 4月	音楽事業部 事業開始
平成23(2011)年 4月	公益財団法人せたがや文化財団に移行
令和 2(2020)年 4月	せたがや国際交流センター開設 国際事業部 事業開始

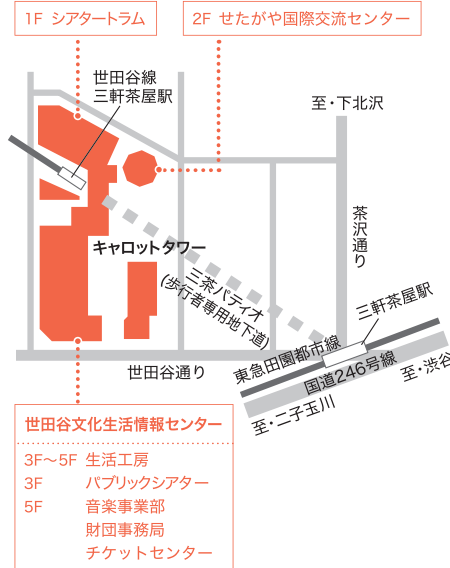
財団の組織



施設案内

世田谷文化生活情報センター

所在地 〒154-0004
世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー
TEL 03-5432-1500(代)
FAX 03-5432-1559



交通
東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車徒歩5分(地下道直結)
東急世田谷線「三軒茶屋」駅下車徒歩0分
小田急バス・東急バス「三軒茶屋」駅下車徒歩1分

生活工房

利用可能時間 午前9時～午後10時
※3F生活工房ギャラリー・市民活動支援コーナーは、午後9時まで
休館日 月曜日(祝日除く)、年末年始
TEL 03-5432-1543
URL <https://www.setagaya-ldc.net/>

世田谷パブリックシアター

休館日 年末年始
TEL 03-5432-1526(代)
チケットセンター
03-5432-1515
(午前10時～午後7時、年末年始休)
URL <https://setagaya-pt.jp/>

音楽事業部

休館日 年末年始
TEL 03-5432-1535(平日午前10時～午後6時)
URL <https://www.setagayamusic-pd.com/>

せたがや国際交流センター

開館時間 午前10時～午後6時
休館日 月曜日、年末年始
TEL 03-5432-1538
FAX 03-5432-1570
URL <https://crossing-setagaya.com>

公益財団法人せたがや文化財団 事務局

TEL 03-5432-1501
(平日 午前9時30分～午後6時)
URL <https://www.setagaya-bunka.jp/>

せたがやアーツカード

世田谷区民のアート体験を応援する「せたがやアーツカード」。15歳以上の世田谷区民の方なら、入会金・年会費無料でどなたでも登録できます。せたがや文化財団の各施設で多彩な特典をご用意しています。

特典

- 世田谷パブリックシアター／音楽事業部
 - ▶ チケット先行発売・会員割引(一部を除く)
 - ▶ オンライン予約・購入可能
- 世田谷美術館・分館／世田谷文学館
 - ▶ 観覧料割引(一部を除く)
- 生活工房
 - ▶ 講座受講料割引(一部を除く)
- メールマガジン毎月配信(希望者のみ)

お問合せ

せたがやアーツカード事務局
〈キャロットタワー 5F〉
TEL 03-5432-1548(午前10時～午後7時)
FAX 03-5432-1559



施設案内

世田谷美術館



交通
 東急田園都市線「用賀」駅から徒歩17分
 または美術館行バス「美術館」下車徒歩3分
 小田急線「成城学園前」駅から渋谷駅行バス「砧町」下車徒歩10分
 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス「美術館入口」下車徒歩5分

開館時間 午前10時～午後6時
 (入場は午後5時30分まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝・休日の場合は翌日)
 年末年始

所在地 〒157-0075 世田谷区砧公園1-2

TEL 03-3415-6011(代)

FAX 03-3415-6413

URL <https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

世田谷文学館



交通
 京王線「芦花公園」駅南口から徒歩5分
 小田急線「千歳船橋」駅から京王バス
 (歳2)千歳鳥山駅行「芦花恒春園」下車徒歩5分

開館時間 午前10時～午後6時

(入場は午後5時30分まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝・休日の場合は翌日)
 年末年始、館内整備期間

所在地 〒157-0062 世田谷区南鳥山1-10-10

TEL 03-5374-9111(代)

FAX 03-5374-9120

URL <https://www.setabun.or.jp/>

世田谷美術館分館

分館共通

開館時間 午前10時～午後6時
 (入館は午後5時30分まで)

休館日 毎週月曜日
 (月曜日が祝・休日の場合は翌日)
 年末年始、展示替期間

● 向井潤吉アトリエ館



所在地 〒154-0016 世田谷区弦巻2-5-1

TEL 03-5450-9581

FAX 03-5450-9583

URL <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

● 宮本三郎記念美術館



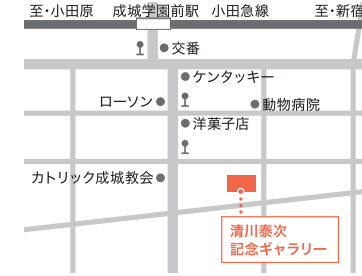
所在地 〒158-0083 世田谷区奥沢5-38-13

TEL 03-5483-3836

FAX 03-3722-5181

URL <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

● 清川泰次記念ギャラリー



所在地 〒157-0066 世田谷区成城2-22-17

TEL 03-3416-1202

FAX 03-3416-0209

URL <http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

せたがやの文化芸術、 未来のために

第二次世界大戦後のわが国の発展が人口の増加とほぼ軌を一にしていたことを考えると、現在の少子高齢化はその逆の傾向を示しているのかもしれませんが。そのことは定量的社会を象徴する経済にもっとも顕著にあらわれられると思われるので、定性的社会の象徴である文化芸術の充実と普及は日本社会にとってこれまで以上に重要な役割を發揮していくのではないのでしょうか。

文化芸術に触れ、その活動に参加することは、人々の創造力を刺激し、育み、豊かな人間性を涵養します。文化芸術活動の高まりは、充足感と人々への思いやりや相互理解を深め、多様性や包摂性のある地域社会の形成につながると考えます。

区内の文化芸術にかかわる素晴らしい施設を世田谷区から受託し管理運営する当財団は、美術、文学、舞台芸術、生活デザイン、音楽そして国際交流の6つの領域を中心とする様々なプログラムによって、幅広い年代の区民をはじめとする皆様に、施設のなかで、また身近な日常の中でさまざまな文化芸術を体験して頂こうと工夫をこらしております。

地域社会は、少子高齢化やグローバル化の進展、多文化社会の到来などかつてないほどの変化のなかにあり、行く手には不透明感がただよっています。文化芸術は、この様なきだからこそ人々をつなぎ、地域社会を活性化していくものとしてその力を發揮していかねばなりませんし、發揮できるものと信じています。

当財団は、持続可能で健全な社会の形成に寄与し、次世代が希望に満ちた地域社会に住むことを誇りに思うことができるよう努力して参ります。



公益財団法人せたがや文化財団 理事長
青柳正規

ご支援のお願い



せたがや文化財団の活動趣旨にご賛同をいただき
文化・芸術を愛好する皆様、
社会貢献にご理解のある企業の皆様からの
ご支援、ご協力をお願いいたします。

寄付の方法のご案内

いただいたご厚志は、事業の運営費として大切に使用させていただきます。
特定の施設や事業に用途を指定いただくことも可能です。



オンラインのクレジットカード決済

▶ オンライン決済サービスを導入しています。決済手数料はかかりません。



財団施設の窓口で現金をお持ちいただく

▶ 各施設で開館時間が異なります。お手数ですが事前のご連絡をお願いします。



銀行口座への振込

▶ 振込手数料はご負担ください。寄付申込書のご記入をお願いします。



現金書留

▶ 書留料はご負担ください。寄付申込書のご記入をお願いします。

寄付いただくこと

- 1 当財団は公益財団法人です。確定申告により税法上の優遇措置を受けることができます。
※寄付の受領証明書を発行いたします。
- 2 ご芳名を財団ホームページに掲載させていただきます。
※匿名での掲載もお選びいただけます。

詳しいご案内は
公益財団法人せたがや文化財団の
ホームページをご覧ください。

せたがやアーツナビ「寄付のお願い」
<https://www.setagaya-bunka.jp/donate/>